



「災害は忘れた頃にやってくる」と言われています。また「備えあればうれえなし」とも言われます。

地震、雷、風水害のような天災のほかに、人が関係するテロ、火災、交通災害、感染症など、各種の災害があります。どのような災害でも予想内のもので大した被害はおこりません。大災害、大惨害となるのは、災害の程度が予想に反して大きかった時です。

どの程度の災害に備えるかを決めるのは容易ではありません。今までに経験したことのある大災害がもう一度来たら、今度は被害を最小限にとどめるような備えは必要でしょう。

名城病院でも各種の災害、犯罪を防ぎ、おこった時に



防災への取り組みについて

国家公務員共済組合連合会 名城病院長 早川 哲夫

はその被害をできるだけ小さくして、皆様の安全に努めています。病院南側入口の右側には防災センターがあり、出入する方のチェック、要所場所に設置した防犯カメラや火災報知器などからの情報チェック、緊急事態への対応などの中心となっています。入口左側の救急センターでは救急患者の対応が可能です。

名城病院は三六四床の病院ですから、入院、外来の患者さんをはじめ従業員も含めると、五〇〇〜一〇〇〇人の人々と、災害の種類程度によっては、周辺の住民の方への救助も当然必要になります。大規模災害に備えては、区、市、県の防災対策にそって行動することになっております。

名城病院に限った防災への取り組みとしては年二回以上の防災訓練、防災連絡網の整備など、ソフト面の備えのほかに、医療用の水、

電力、酸素、さらには、飲料水、食料などの当面数日間の備蓄も準備しております。

お気付きの方も多いかと思いますが、一階ロビーに災害救援センターを設備しました。災害時には、非常用電源に切り替わり、専用キーにより自動的に販売用飲料が取り出せるようになっております。阪神淡路大震災の教訓を生かした新しい救援策の一つです。

「備えあればうれえなし」とは言うものの、万全の備えというものはないと思っただけがよいでしょう。

不幸にも大災害にでくわしたら、まわりの人と協力して無事生き残る工夫をしましょう。パニックにならないよう、たまには、地震なり、火事にあつたら、まず何をしたらよいか考えてみましょう。これも防災の一つではないかと思えます。

パッチワークキルトのタペストリー寄贈



名城病院にパッチワークキルトのタペストリーが寄贈されました。これは、手芸愛好家の設立した

日本手芸普及協会が、4月にジェイアール名古屋高島屋で開いた「私の針仕事展」での企画として製作したものです。

展示会を訪れた延べ2,000人が講師の手ほどきを受けながら花柄や三角形の布をつなぎ合わせ、ハート型の模様が浮かび上がる「ヒーリング・ハート・キルト」と呼ばれる2メートル四方

の大作に仕上げました。

7月6日、同協会より「病院を訪れる人々の気持ちを癒してもらいたい」との気持ちを込めて寄贈され、大勢の人の目につきやすい1階ロビーに展示されました。多彩な布で綴られたキルトが、ここを訪れる人の目を引き、見る人の心を癒す新スポットとなることを期待しています。



こどもの「心雑音」について

小児科
小島 奈美子

こどもたちの発育、発達、病気の有無などをチェックするために、新生児健診や乳児検診、保育園健診、学校健診など様々な健診が行われています。

その際「心雑音がある」と言われ当院へ紹介受診される方も少なくありません。約100人に一人は心臓病を持って生まれてくるとも言われています。

「心雑音」とは、本来の心臓の音（心音）以外に余分な音が混ざっている状態の総称です。

心臓の壁に穴が開いていたり、心臓や血管に狭い部分があったりすると音が生じます。

ただし小児では、心臓病のない健康児にも心雑音がきかれることがあり、このような音は無害性雑音あるいは機能性雑音と言われています。

「心雑音がある」と言われたこどものうち頻度の多いものとしては、無害性雑音、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、肺動脈弁狭窄、



動脈管開存症などがあげられます。新生児では、卵円孔開存症や末梢性肺動脈狭窄症が比較的多く、これらは経過とともに改善・自然治癒することも期待できます。つまり「心雑音」には、病気ではないもの、治療がいらぬ軽症の病気、経過とともに改善するもの、治療を要する病態のものなど様々なものが含まれているのです。「心雑音がある」と言われたら一度小児循環器科を受診してみてください。

当院では初診の方でも聴診に加えレントゲン、心電図、心エコーなどの検査を速やかに行い、当日のうちに診断しています。

無害性雑音あるいは機能性雑音と診断されれば病気ではありません

るので、安心して以前同様の日常生活を送ることができます。

もしも心臓病が見つかった場合は、病名、病態（どこがどのように悪いのか）、重症度、考えうる経過、治療法、以後の方針など詳しくご説明

することを心がけています。

医療はどんどん進歩を続けています。以前は手術室で全身麻酔下に何時間もの手術をして治していた心臓病が、今では足の付け根から2~3mmのカテーテルという細い管をいれて体に傷をつけることなく治してしまうことも可能になりました。

当院では弁狭窄のバルーン解除や、動脈管開存症のコイル塞栓などの小児に対するカテーテル治療も行っています。

ひとりひとり最適な治療法を選択し、こどもたちがハンディキャップなく健やかに成長していけるようにサポートすることが最も大切だと考えています。



熱中症にご注意

熱中症は気温が高いときに、スポーツや労働を頑張りすぎると体の体温調節がきかなくなり起こります。

熱けいれん

汗をかきすぎて噴き出した塩分の補給が不足すると起こります。大量の汗をかき、水分のみ補給した時に起こるけいれんです。衣類を脱がせ涼しいところに移し、食塩水を飲みましょう。

熱疲労

発汗による脱水に加え体温調節ができなくなり熱が体にこもる状態です。体を風であおぎ体温を下げ、食塩水を飲みましょう。

熱射病

体温調節が破綻して起こり、高体温と意識障害が起こります。

熱射病では、全身に冷水をかけて風を送るなどあらゆる方法で体を冷却し、意識や呼吸状態を確認しつつ一刻も早く救急病院に搬送します。

もし、氷やアイスパックがあれば、首、わきの下、ももの付け根など太い血管の上を冷やすと効果的です。

予防

暑いときは通気性の良い服装で帽子をかぶり、汗をかいたら涼しいところで、水分だけでなく塩分も補給しましょう。

またスポーツドリンクは塩分に併せて運動で消費したカロリーも補えます。

体の疲れがひどいときや大量の汗をかいたときは要注意です。

暑いときは汗が噴き出るような仕事や運動は慎んでください。

救急車の乗車研修を実施

4月1日に入職された看護師の皆さんが中消防署の救急車に乗車し、救急車の出動から病院搬送までの乗車研修を行いましたので、感想をご紹介します。

8階病棟

小林 慶子

救急車乗車体験に参加し、実際の救急医療の現場を学ぶことができた。

私は実際に火事と救急の2回出動があり、救急隊員の方は、電話でどのような状態にあるのかを把握した上で、どのような物品が必要かなどを素早く判断していた。実際に患者さんの状態は見るができないので、到着するまでにあらゆる場面を想定しなくてはならず、とても難しいと感じた。

また、病院に搬送するまでも素早く行動できており、救急車内において短い時間でも患者さんの苦痛を緩和するためにできる限りの応急処置を行うことも大切だと学んだ。

救急の場面では、冷静な判断力と素早く的確な行動が求められるということを改めて感じた。

実際に病棟で急変が起きた時などにもこの学びを生かしていきたい。

ICU・透析室

駒田 真美

今回、救急車乗車研修では、4件救急車に同乗させていただくことができました。

救急隊の方々は、どの患者さんにも優しく対応しており、短時間で患者さんの状態を把握し、病院に送るまでの的確な処置をすばやく行っている所を見て、私も今後、患者さんに苦痛を与えず、すばやく的確な看護を行っていかなくてはならないと感じました。

救急車の車内には、AEDや心電図など、車内にコンパクトに配置されており、これを使い緊急処置がされているのだと思いました。

また、患者さんを病院に搬送するため、病院に電話をしていましたが、なかなか病院が受け入れてもらえないことが多く、この病院を探している間にも、患者さんは苦痛と不安でいっぱいなのだろうと思うと、もっと沢山の病院で受け入れ体制が整っていればいいと感じました。

中央手術室

山奥 麻友

同乗体験を行い、2回出動する機会がありました。

出動場所に行くまでに少しでも情報を得るために、救急車の中から通報者に再度連絡し、情報の確認及び現在の状況を聞いていました。

到着してからは、会話が可能であれば本人から聞き、病院へ連れていってもいいのかが確認してからストレッチャーに乗せていました。

救急隊は、情報からどの科がある所に連れていくべきか、病院と連絡をとり搬送をしていました。

搬送中は手早くモニターを装着し、住所や既往など短時間でたくさんの情報を得ながらも、不安を与えないように常に笑顔で声をかけながら対応されていました。

私は同乗体験することによって、救急隊の仕事内容、病院との連携の手段を知ることができました。

救急隊の素早い判断、正確な情報を元に看護できるようにしていきたいと思いました。





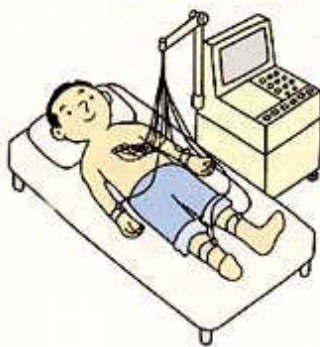
臨床検査情報

生理機能検査室で行っている心電図検査についてお話しします

心電図とは…

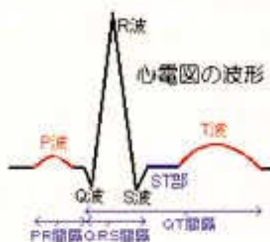
心臓は、1日10万回も収縮と拡張を繰り返して全身に酸素やエネルギーを含んだ血液を送り出す重要な作業を営んでいます。この収縮・拡張する時に電気が発生します。この電気の流れを体表から捉えて、目に見えるように器械で増幅して紙上に記録したものが心電図です。

心電図検査は、心臓の疾患に関わる検査の基本で、最も簡単に行うことができ、しかも痛みも無く、心疾患発見の第一の手がかりとなる重要な検査です。



心電図検査は目的によって

- ①安静時心電図(標準12誘導心電図): 健康診断など最も普通にとるものです。
- ②負荷心電図: 運動をして心臓に負荷を与えて、安静時には現れない症状を検出します(虚血・不整脈)の2種類があります。



心電図でわかることは…

- ①心臓のどの部分が統制をとっているか (これを調律といいます: 正常は洞調律)
- ②心臓が規則的に動いているか (不整脈の発見: 心室性期外収縮など)
- ③心臓の中できちんと電気が伝わっているか (伝導障害: ブロック)
- ④心臓の筋肉が肥大しているか (心臓肥大: 高血圧などによる左室肥大など)
- ⑤心臓に栄養を与える血管(冠動脈)に狭いところがないか (狭心症)
- ⑥心臓の筋肉の一部が死んだりしていないか (心筋梗塞)

などなど、色々なことがわかる検査ですが、「その時起きている変化でないと分からない」こと、「心臓のすべての変化が表現されるわけではない」こともご理解ください。

名城病院診療等のご案内

■診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)・外科
整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神経内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課(052)201-5311
内線2132にお問い合わせ下さい。URL <http://www.kkr.or.jp/meijo>

※医療福祉に関するお問い合わせは、医療福祉相談室 内線5105まで

■診療受付時間

新患受付 午前8:30~11:30まで
再来受付 午前8:00~11:30まで

■面会時間

平日 午後0:30~8:00まで
土・日・祝

但し、①小児科病棟は、午後7:00まで

②ベビーの面会は、
午後0:30~1:30まで
午後3:30~4:30まで
午後6:30~7:30まで }の3回です。

③ICU室への面会は30分以内に限らせていただきます。

■診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(11月6日)

■所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318

編集後記



(安曇野:山菜田)

入眠後、数年間は暑い季節になると安曇野(長野県)へ出かけたものだった。友人達と車に乗り込み、たあいもない話をしながら人里はなれた温泉宿への一泊旅行であるが10数年たった今日でも色あせない思い出となっている。田んぼと山に囲まれたその場所は、日常とは違った趣のある景色が広がっていた。皆、家庭を持ち、子育てや仕事に追われることが多くなるにつれて足を運ぶことができなくなっていった。これを書いているうちにまた出かけてみたくなった。しばらく遠のいていた小旅行ではあるけれど、皆に声をかけてみたいと思う。(S.Y)